



② 30分コース「実践ミニ研修」(放課後など)

理論編

道徳科の基本・明確な意図・学習指導過程	研修内容 「考え、議論する道徳」の実際  理論 「教科化の背景」 「道徳科の目標」 『「考え、議論する道徳」の捉え方』 p 5～8 授業づくりのポイント 「教師の明確な意図」 p 66 「学習指導過程4つのポイント」 p 61	ねらいと流れ	
		ねらい	提案授業を基に、「考え、議論する道徳」の授業を構想する際に押さえておきたい理論について、共通理解を図る。
理論編 1		流れ	①サポートブックで、基本的な理論を確認する。 ②サポートブックで、明確な意図を持って授業を構想することについて確認する。 ③サポートブックで、学習指導過程を構想する際に押さえておきたいことを確認する。 ④提案授業の学習指導案と「学習指導過程4つのポイント」を照らし合わせ、実際の授業のねらいや学習指導過程、発問について具体的なイメージを持つ。

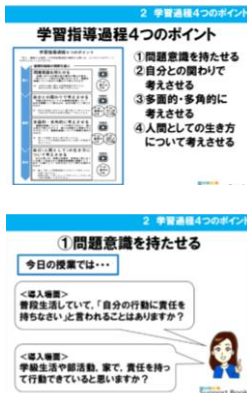
演習編

見取りを行う	研修内容 見取りと評価の具体  道徳科の評価 「評価の意義」 p 85 「大きくくりなまとまりでの評価」 p 90～91	ねらいと流れ	
		ねらい	児童生徒の実際の記述を活用し、道徳科の評価の基本的な考え方を基に、見取りを体験する。
演習編 1		流れ	①サポートブックで、評価の基本的な考え方を確認する。 (児童生徒の記述のコピーを配る。) ②児童生徒の実際の記述を見て、実際に見取りを行う。「自分との関わりで考えている」部分には青線、「一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させている」部分には赤線を引く。 ③どの部分に線を引いたか、情報交換をする。 ④(可能であれば)事前に準備した評価の例を共有し、見取った情報をどのように評価につなげたらよいかを確認する。

研修会の進め方

(例) 30分コース「実践ミニ研修」

理論編1 「『考え、議論する道德』の実際」

ねらい	提案授業を基に「考え、議論する道德」の大まかな学習指導過程の構想の方法について知り、授業実践に生かすことができるようにする。		
準備物	参加教師：サポートブック、提案授業の指導案 進行役の教師：PC、大型提示装置（TV、プロジェクタなど）、スライド ※事前に道德の提案授業を全員で参観する。		
研修の流れ	時間	活動内容	進行手順
	30秒	ねらいの確認	「道德が教科化されたばかりで、不安なこともあると思います。今日は、道德の授業の方向性をみんなで確認し、具体的にどのように授業を構想すればよいのか提案授業を基に考えていきましょう。」
	5分	「理論」についての説明	・サポートブック「教科化の背景」「道德科の目標」「考え、議論する道德とは」を基に説明する。
	5分	「教師の明確な意図」についての説明	・サポートブック「教師の明確な意図」を基に説明する。
	15分	「学習指導過程4つのポイント」についての説明  スライド例	・サポートブック「学習指導過程4つのポイント」を基に、具体例を踏まえて説明する。 「ポイントの1つ目は、ねらいとする道德的価値についての問題意識を持たせることです。主に導入の場面で、主題に対する児童生徒の興味関心を高める活動や発問を行います。児童生徒に「考えたい」と思わせ、自分との関わりで考えさせます。サポートブック68ページをご覧ください。例えば、日常生活のアンケート結果を提示すること、学校行事等の体験活動を振り返ることなどの工夫例が示されています。今日行った「〇〇〇（教材名）」の授業では、導入の場面で〇〇を想起させ、〇〇を問うことで問題意識を持たせる働きかけを行いました。 ポイントの2つ目は・・・」
4分30秒	まとめ 質疑応答	「私たち教師が明確な意図を持ち、4つのポイントを取り入れながら授業を構想していきましょう。」	